

## 第1学年 道徳学習指導案

平成24年10月23日(火) 第5校時

- 1 主題名 みんなが楽しい かくれんぼ 【4-(1) 公徳心、規則の尊重】
- 2 資料名 「かくれんぼ」(出典：教育委員会 彩の国道徳資料「きょうもげんきに」)
- 3 主題設定の理由

### (1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、低学年の内容項目4-(1)「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に使う。」ことをねらいとしている。このねらいは、第3・4学年の4-(1)「約束や社会のきまりを守り、公徳心をもつ。」、第5・6学年の4-(1)「公徳心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。」と深く関わり、児童が生活する上で必要とされる社会規範を守るとともに、公徳心を持ち、それらの精神を日々の生活の中に生かしていく児童を育てようとする内容項目である。

児童が成長することは、同時に社会や集団の様々な規範を身に付けていくことでもある。まず、約束やきまりを守ることができるようにすることが必要である。その過程で公徳心を養い、さらに、社会の法やきまりのもつ意義について考えるとともに、それを遵守し自他の権利を尊重する精神を身に付けるよう指導していく必要がある。

この時期の児童は、まだ自己中心性が強く、自分勝手な行動をとることが多い。そこで、かくれんぼという児童にとって身近な題材を取り上げ、自分のことだけではなく周りの人のことも考えることで、みんなが楽しく過ごせるということに気づかせることを通して、集団生活の中におけるきまりやルールの意味を考えさせ、守っていこうとする態度を養いたいと思い、本主題を設定した。

### (2) 児童の実態について

本学級の児童は、きまりは守らなくてはいけないものだと考えている。学校のきまりや約束、遊ぶときのルールなど、教師や家の人に言われたことを守ろうとする気持ちを持っている。そのため、授業の約束や遊具の使い方の約束など、とてもよく守っている。一方で、休み時間に靴を整頓せずに急いで外に遊びに行ってしまうたり、何度注意されても、教室や廊下を走ってしまう児童もいる。

1学期に「あぶない、あぶない【内容項目4-(1)】」という授業で、約束があることを知っていたけれど、守れなかったことがあるかどうかを聞いたときには、ほとんどの児童が「ある。」と答えた。内容としては「早くトイレに行きたくて廊下を走った。」「たくさん遊びたくて走って外に出た。」といったものが多かった。

これらのことから、児童は、約束は守らなくてはいけないと考えていること、自分勝手な理由で約束を守れなかったことがあると振り返ることができていることがわかった。しかし、そうした考えを自分の生活に生かすことができていない。そこで、何のためにきまりや約束があるのかを考えさせていき、きまりを守ることでみんなが気持ちよく過ごせるということに気づかせ、どんなときでも自分勝手に行動しないで、みんなのことを考えてきまりを守ろうとする態度を育てていきたいと考え、本主題を設定した。

### (3) 資料について

本資料は、くまさんが主人公である。なかまとかくれんぼをしているとき、約束を破って小川を渡り、太い木の後ろにかくれてしまったため、心配したみんなが探し回る。くまさんはそれに気づいて慌ててみんなの前に出ていき、「ごめんね。」と謝り、「今度は、みんなが楽しいかくれんぼにしよう。」と心に決めるという話である。

体が大きくいつも最初にみつかってしまうくまさんは、今日こそ見つかриたくないと思っていた。危ないから渡ってはいけないことになっていた小川の向こうに、かくれられそうな太い木を見つける。くまさんは迷うが、渡ってしまう。身勝手さから安易に遊びのきまりをやぶり、なかまに心配をかけてしまう主人公の経験をおして、きまりやルールを守ることがお互いに楽しい生活をつくっていくすばらしさを感じさせたい。

## 4 研究主題との関連

### (研究主題)

心豊かにたくましく生きる児童を育てる道徳教育の研究  
一人としてよりよく生きようとする児童の育成—

《 めざす児童像 (低学年) 》

基本的な生活習慣を身に付け、誰とでも仲良くしようとする子

### 仮説 1

1時間の道徳の授業の展開を工夫し、児童の心に響く授業が展開できれば、道徳的实践力を高めることができ、心豊かな児童が育つであろう。

仮説1にせまるために、次のような手立てを考えた。

#### ①資料提示の工夫

・児童の関心を高め、条件・状況の理解を深めるために、紙芝居を用いた判読を行う。

#### ②学習形態の工夫

・机を使用せず、椅子のみを使って教師の近くに座らせ、児童がお互いの様子や表情が見えるようにする。

#### ③発表形態の工夫

・パートナーロールプレイングを行うことで、一人一人が自分の考えをもち、自信を持って発表できるようにする。

### 仮説 2

教育に関する3つの達成目標(規律)との関連を図り、保護者・地域との連携を充実させれば効果的な道徳教育が展開でき、心豊かな児童が育つであろう。

仮説2にせまるために、次のような手立てを考えた。

①学校での児童の様子を懇談会、「学年だより」「道徳だより」等で保護者に伝える。

②「いきいきなかよし百問っ子」の結果を保護者に知らせ、協力しながら基本的な生活習慣を身に付けさせていく。

5 本時の学習指導

(1) ねらい

集団生活の中でのきまりやルールを守ろうとする態度を育てる。

(2) 展開

※は研究主題と関連があるもの

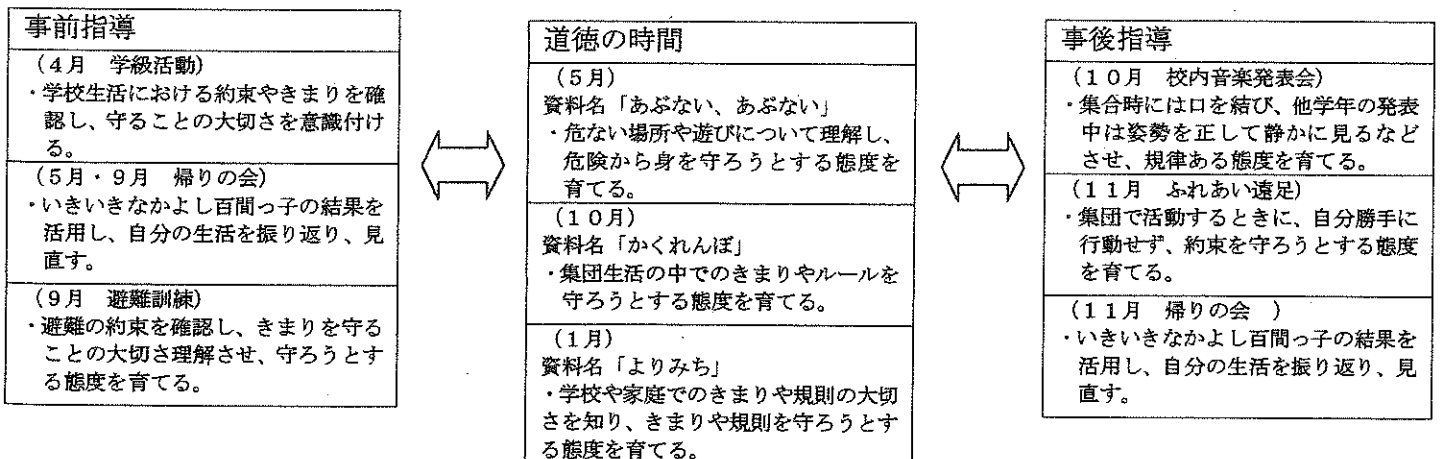
段階	学習活動	主な発問 (○) と予想される児童の反応 (・)	指導上の留意点 ◇評価	時・期
導入	1 学校のきまりを考える。	○学校には、どんなきまりがあるかな。 ・ろうかは右側を歩く。 ・教室やろうかは走らない。	・自分たちの身近なところにもたくさんのきまりがあることに気づかせる。	5分
展開	2 資料の概要・登場人物について知る。	登場人物 くまさん うさぎさん 条件・状況 森の中で、動物たちがかくれんぼをしている。「小川をこえないこと」がみんなの約束になっている。けれど、かくれる場所がなかなか見つからないくまさんは、川の向こう側に大きな木を見つける。		10分
	3 くまさんの気持ちを考えながら紙芝居を見る。	○くまさんの気持ちを考えながら聞きましょう。 ○思ったことや考えたことを発表しましょう。	※条件・状況を説明し、くまさんの気持ちがわかるように、紙芝居を読む。	紙芝居
深める	4 主人公の気持ちを中心に話し合う。 (1) かくれる場所を探しているときの気持ちを考える。  (2) 遠くからうさぎさんの声が聞こえてきたときの気持ちを考える。  (3) 小川を飛び越え、太い木のかげにかくれたときの気持ちを考える。	○かくれる場所を探しながら、くまさんはどのようなことを思ったのでしょうか。 ・太い木があればかくられるのに。 ・なかなか見つからない場所はないかな。 ・見つかりたくないな。  ○遠くからうさぎさんの声が聞こえてきたとき、くまさんはどんなことを思ったのでしょうか。 ・早くかくれなくちゃ。 ・あの木の後ろならばくでもかくられるぞ。 ・木のところへ行きたいけど、川を渡ってはいけない約束だったな。どうしよう。  ○小川を飛び越え、太い木のかげにかくれたくまさんは、どのようなことを思ったのでしょうか。 ・ここなら絶対見つからないぞ。 ・やったあ、上手にかくれられたぞ。 ・しめしめ。	・いつも最初に見つかってしまうのがいやで、なかなか見つからないかくれ場所を一生懸命探しているくまさんの気持ちに共感させる。  ・心のつなひきを用い、みんなでした約束のことを考えて迷ったけれど、「見つかりたくない」という自分勝手な理由から、川を渡ってしまったくまさんの気持ちを考えさせる。 ・どうしてこのきまりができたのかにも触れるようにする。 ◇渡ろうかどうしようか迷っているくまさんの気持ちを捉えている。(発言)  ・太い木のかげに上手に隠れ、喜んでくまさんの気持ちを押しさえる。	20分  心のつなひき

		(4) くまさんがなかまたちに「ごめんね。」と言ったときの気持ちを考える。	○くまさんは、どんな気持ちで「ごめんね。」と謝り、どんなことを心に決めたのでしょうか。 ・心配かけてごめんね。もう川を渡らないよ。 ・みんなで約束を決めたのに、破ってごめんね。もう絶対にしないよ。 ・みんなごめんね。今度はみんなが楽しいかくれんぼにしよう。	・くまさんが見つからなくて心配しているなかまたちの気持ちにも触れ、なかまたちにとっては「楽しいかくれんぼ」ではないことを押さえる。 ※みんなが心配していたことに気づき、「ごめんね。」と言うくまさんの様子を、2人組になって考えさせ、一人一人の考えを深めさせるようにする。 ・みんなが楽しいかくれんぼにするためには、約束を守ることが大切だということに気づかせる。	パートナー ロールプレ イング
	見つめる	5 今日の学習について振り返り、きまりを守ることにについて考える。	○みなさんは、これからどのように生活していきたいですか。 ・約束を守って生活したい。 ・みんなで楽しく過ごせるようにしたい。	・ワークシートに記入させ本時の学習内容を振り返り、きまりを守ることの大切さを考えさせるようにする。 ◇きまりを守ることの大切さを理解し、自分の生活を振り返っているか。(ワークシート) ・集団生活の中でのきまりやルールを守る態度を育てる。	8分
終末	育む	6 教師の説話を聞く。	○きまりについて話をする。	※きまりを守ることの大切さや、意味を考えていこうとする意欲を持たせる。	2分

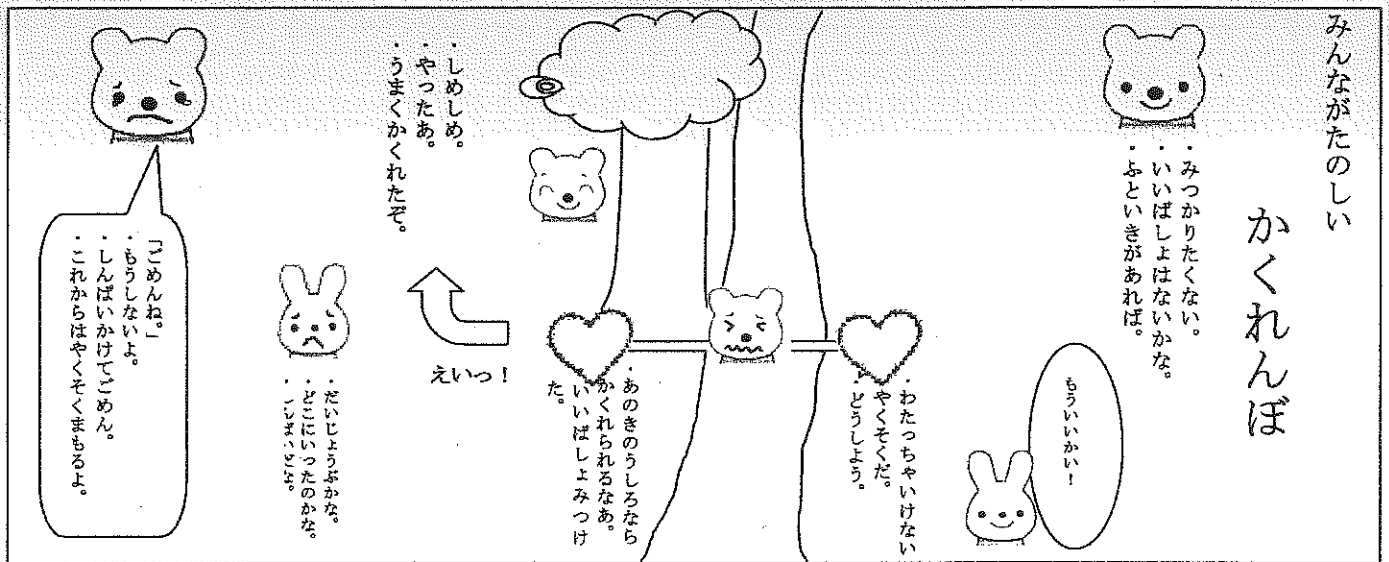
## 6 評価

◇集団生活の中でのきまりやルールを守る意味を考えて、気持ちよく生活しようとする身構えができたか。(発言、ワークシート、観察)

## 7 他の教科活動との関連



8 板書計画



9 資料分析表

資料名 「かくれんぼ」 【4- (1) 公德心、規則の尊重】

【スタートの条件・状況】

なかまたちとかくれんぼをしているくまさん。「小川をこえないこと」がみんなの約束。いつもすぐに見つかってしまうくまさんは、小川の向こうに自分がかくれられそうな大きな木を見つける。

【話題につなげたい場面】

【キーワード】

【話し合いの柱】

くまさんがかくれる場所を探している場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どこかに太い木はないかな。いつもぼくは、さいしょに見つかったもの……。」</li> <li>・けれども、太い木はなかなか見つかりません。</li> </ul>	走りながらかくれる場所を探しているくまさんの気持ち。
「もう、いいかあい」といううさぎさんの声が聞こえてきた場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あっ、むこうがわにちょうどいい木があるぞ。」</li> <li>・「もう、いいかあい」遠くから、うさぎさんの声が聞こえました。</li> </ul>	遠くからうさぎさんの声が聞こえてきて、小川を渡ろうか迷うくまさんの気持ち。
小川を飛びこえ、太い木の後ろにかくれる場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「えいっ。」</li> <li>・いそいで小川をとびこえて、太い木のかげにかくれました。</li> <li>・(しめしめ……)くまさんは、うれしくなりました。</li> </ul>	小川を飛び越え、太い木のかげにかくれたくまさんの気持ち。
なかまたちに「ごめんね。」と言った場面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ごめんね、みんな。」</li> <li>・(こんどは、みんなが楽しいかくれんぼにしよう。)</li> </ul>	くまさんは、どんな気持ちで「ごめんね。」と謝り、どんなことを心に決めたのか。

【ねらいとする人間像】《内容項目 4- (1) 公德心、規則の尊重》

自分勝手に行動せず、約束や決まりを進んで守ろうとする子